

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	吉田 利信		
居室	西1-516		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yoshida@ice.uec.ac.jp	http://www.edu.cc.uec.ac.jp/ice/CL04/

【主題および達成目標】
<p>情報化社会の今日、コンピュータは、計算や文書処理のみならず、コミュニケーション手段を包含した情報処理に広く用いられている。大学においても、コンピュータを学習や研究の道具として使いこなせることはとても重要である。</p> <p>そこで、本授業ではオペレーティングシステムとしてUNIXを搭載したワークステーションを用い、コンピュータシステムやオペレーティングシステムの基本的な事項について学び、文書の作成などの情報の生成、ファイルシステムなどによる情報の蓄積や管理、ネットワークを用いた情報の発信や受信、文書の清書などにコンピュータを使いこなせるようになることを目的としている。また、ネットワーク社会におけるセキュリティーやモラルについても学ぶ。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>教科書：渡辺成良・若月光夫・織田健 / 共著 「UNIX コンピュータリテラシー（第2版）」（共立出版）</p>

【授業内容とその進め方】

この授業では、はじめに授業担当教員による概略の説明がある。その後、UNIXのマルチウィンドウ環境を利用し、ウィンドウ上のWeb教材の説明や指示を、別のウィンドウ上で実際に操作を行い、確かめながら、自習形式で学習を進める。教室には授業担当教員のほかに、数人のティーチングアシスタント(TA)があり、学生からの質問に応じて指導を行う。

以下の項目について、演習を行いながら学ぶ。

- ・システム利用の基本事項
- ・本学ネットワーク利用ポリシー
- ・文書の編集・日本語入力
- ・電子メール
- ・UNIXの基本事項
- ・ファイルシステム
- ・文書の清書
- ・コンピュータネットワーク
- ・環境設定
- ・情報倫理
- ・Webページの作成

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

授業には特別な事情がない限り出席すること。演習課題のレポートはすべて提出すること。これらの条件を満たした学生について、レポートの評価と期末試験の結果を50%ずつの重みで合計し、成績をつける。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・UNIXの基本コマンドを使用することができる。
- ・漢字仮名混じりの文書の作成、編集ができる。
- ・ファイルシステムを理解している。
- ・電子メールの送受信ができる。
- ・計算機の利用におけるモラル、セキュリティー、ネットワーク利用ポリシーの基本事項を理解している。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話や電子メールなどで事前にアポイントを取ること。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【学生へのメッセージ】

学生諸君のほとんどが、これまで中学や高校あるいは家庭で、コンピュータを使った経験があるであろう。しかし、UNIXを使った経験のある人はほとんどいないのではないか。この授業ではUNIXシステムを用いる。その意味で、皆が初心者である。コンピュータに初めて触れる人も、気後れすることなく、積極的に学習に取り組んで欲しい。

【その他】